

「家族のケア」や「セルフケア」のためのオンライン講座

タッピングタッチ協会さんは、お互いをタッチすることで心身をケアする方法「タッピングタッチ」に取り組む NPO です。「不安やストレスを感じやすいコロナ禍で、タッピングタッチを役立ててほしい。」そう考えた協会は、おうちにいる時間に「家族」あるいは「自分自身」で心身のケアができるよう、Zoom を使ったタッピングタッチのオンライン基礎講座を始めました。



6月13日、27日は「家族のためのオンライン基礎講座 A」を開催し、延べ8組の家族が参加しました（なかには3世代家族や生後1か月の赤ちゃんも！）。お互いにふれることで心身をケアするタッピングタッチですが、離れていても参加者さんそれぞれの表情や声で、心のつながりを感じることができました。子どもたちも家族や自分の体をタッピングして、リラックスした気持ちになれました。



ウェブサイト

市民活動

をさらに発展させよう」という動きもあります。今回は「新しい生活様式」における市内 NPO のオンライン活用術をご紹介します。

～オンラインでつながる「これからの」市民協働～



Instagram

が好きなので、とても嬉しい」「為になる話があって楽しい」といったコメントが届きました。また、「近隣在住なので、ぜひ伺いたい」との声もあり、資料館は投稿を見た皆さんが来館する時を心待ちにしています（※現在も毎日「絵馬シリーズ」を投稿中です）。

企画展「悪疫を予防、退散させるために…」@ Instagram

新型コロナ感染防止のため、臨時休館を余儀なくされた「東海道四日市宿資料館」。そこで資料館は、館長の長谷川博久さんが所有する民俗・歴史文化資料の中から、運営委員の橋本茂さんが“疫病除け”に関するものを写真共有 SNS (Instagram) に投稿し、企画展「悪疫を予防、退散させるために…」をウェブ上で開催しました。

つのだいしごうまふだ
「角大師降魔札」などを撮影し、橋本さんの解説とともに投稿すると、約 2,800 人いるフォロワーさんから「資料館や博物館



Facebook

東海道
四日市宿
資料館